

日本人間関係学会関西地区会会員各位

平成 23 年 2 月 1 日
日本人間関係学会関西地区会
会長 早坂 三郎

第 28 回関西地区会研究会報告及び第 29 回関西地区会研究会開催ご案内

拝啓

お健やかにて新年をお迎えのこと拝察申し上げます。本年のご活躍とご発展をお祈り申し上げますと共に本地区会研究会の活動に倍旧のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

本日は、研究会の報告とご案内の前に遺憾ながら、悲しいお知らせをしなければなりません。今回報告いたします第 28 回研究会で発表されました大盛幸子会員が年末の 28 日に急逝されました。訃報を翌朝に聞きました私は只々、驚くばかりで残念でなりませんでした。大盛会員は、これまで地区会のみならず先般の高知大会でも発表され、地区会の会務運営や語り旅にも献身的に活動される、まさしく誠実で優秀な会員でした。先生の本会への多大なる貢献に感謝し、ご遺徳を偲びつつ心より哀悼の誠を捧げ、ご冥福をお祈りしたいと存じます。

続きまして本日は、前回第 28 回研究会での谷川和昭会員の「卒業研究教育の実践をめぐる諸課題」と大盛幸子会員の「保育実習に対する学生の意識について-自己評価から見える実習指導のあり方-」の発表報告と併せて、今回の増田会員の「都市部における買い物難民」並びに奥村会員の「精神科医療におけるさまざまな器-制度、構造、物、そして人-」と題する両発表による第 29 回研究会の発表概要と研究会開催要項をお届け致します。併せまして、今回はエイジング部会による広島地区研究集会開催要項「地域社会における社会資源としての福祉サービスのあり方-サービス提供者、利用者とその家族、地域住民、ボランティア等の視点から-」のご案内を添付いたしましたので、ご高覧の上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

尚、今回は、佐々木かなこ会員にお願いし、新春の京都は大谷大学を会場として開催しますので趣を味わいながら、どうかお繰り合わせの上、ご参加下さい。

末筆ながら寒さ厳しき折柄故、ご自愛のほど偏に願ひ上げます。

敬具

《第 28 回関西地区会研究会の報告》

①発表者：谷川 和昭（関西福祉大学）

テーマ：「卒業研究教育の実践をめぐる諸課題」

関西福祉大学社会福祉学部における卒業研究教育として 4 年次のゼミを担当して 7 年目となる谷川会員の教育活動の足跡を辿り、その指導の成果と課題について卒業研究論集等の資料をもとに今後の展開への考察にも目的を置くものであった。以上については「関西福祉大学の谷川ゼミ会報について」（同大学研究紀要第 13 号）にも報告されていますが、谷川ゼミでは毎年、福祉学及びソーシャルワークの拠り所であり前提でもある「良好な人間関係」を意識し相互に影響を及ぼし合うことを意図して論集づくりをされていますが、今回の発表では実際に使用した教材の紹介と共に、4 月からの週 2 回の授業で国家試験対策と併せて卒業研究指導しているプロセス、即ち、論文作成スケジュール及び研究領域

の設定、文献リスト並びにアウトラインの作成、中間報告会、そして個別指導と執筆、草稿完成とピアレビュー、論文集の校正についての解説と考察が述べられた。1年足らずで論文集を仕上げることは神業とも言うべきで、まさしく驚きでもあります。大いに我々の演習指導に示唆を受ける内容でした。ゼミの指導期間を2年とすることなどについての質問が寄せられた。

②発表者：大盛幸子（芦屋女子短期大学）

テーマ：「保育実習に対する学生の意識について-自己評価から見える実習指導のあり方-」

保育士養成課程においては、理論と実践に習熟させる「保育実習」の位置づけが採り上げられており、学生のみならず保育士養成校で指導する教員にも実習への心理的負担やストレス、そして失敗等への不安をもたらせています。

そこで保育実習を終えた学生にアンケート調査を実施し、学生自身の自己分析から自己評価を行い、保育実習に対する意識や気持ちがどのようなものであり、またどのように変化したかについて調べられた。その項目は、保育者や子どもから学んだこと、日誌・指導案についての反省、自分のテーマの達成、実習中に大変だったこと、そして今後の課題であった。不安と負担、そして準備不足等から、実習先での人間関係構築とへの意欲、また将来展望についての課題等が読み取れた。学生自らの成長する力を伸ばし、保育者志望を強め、人間関係の展開力を高めるための今後の保育実習のあり方を模索しようとする意欲的・教育的研究であった。そこで、実習の事前及び事後指導の具体的内容とその有効性の検証方法についての期待が込められた質問が寄せられた。

研究会は岡崎会員の歓迎の挨拶に始まり、会長から前田氏・水野氏の紹介があり、発表と質疑応答の後での報告と打ち合わせでは、高知大会での協力への御礼、エイジング部会の広島地区研究集会開催案内、また11月に新病棟を竣工された北勢会北勢病院の佐藤貴志会員にお祝いの目録贈呈が行われ、謝意が述べられた。最後に、次回3月12日の大谷大学での開催案内があり、場所を忘年会会場に移し、質疑応答と懇談が続けられた。

出席者：伊賀吉郎、大盛幸子、岡崎利治、奥原佑子、佐々木かなこ、佐藤貴志、谷川和昭、谷川俊治、友次秀正、早坂三郎、前田秀樹、松原京子、水野成昭、三好明夫、以上14名。

《第28回関西地区会研究会のご案内》

①発表者：増田利治（NPO法人とらい・あぐる）

テーマ：「都市部における買い物難民」

昨今、買い物という日常生活には当たり前であった人間としての行為が困難となっている人々が増加傾向にあるという実態が、過疎地だけでなく都市部にも多数存在していることが明らかになってきている。こういった社会現象が起こっている背景には何が存在するのか、また実態はどうであるのか、解決方法は？等、自身の関わったケースの事例を通して垣間見える人間関係の希薄化等複雑な要因が絡み合ったこの社会問題について検討していきたい。

②発表者：奥村 務（特定医療法人北勢会 北勢病院）

テーマ：「精神科医療におけるさまざまな器 ー制度、構造、物、そして人ー」

精神科病院(医療機関)とは、その地域における精神的な諸問題に対するもっとも重要で力強いサポート機関であり、その対象となる者は、非常に重症であり対応の困難さを有する事例が多い。更に入院医療となると、しっかりとした「器」による守りがなければ、改善はおろか、その人自身を保つことすら困難になりかねない。

そこで今回の発表では、精神科医療の「器」として挙げられる制度の変遷、それを見据えながら運営をしてきた当法人の病床数、患者数及び職員数の移り変わりを考察し、後半では、昨年末に完成した「新病棟」の紹介をしながら、その計画、設計のなかでさまざまな人間関係が配慮された経緯も合わせて紹介させていただきます。

記

日 時：平成 23 年 3 月 12 日（土）午後 3 時～5 時 30 分
会 場：大谷大学 博綜館（はくそうかん）5 階・第 5 会議室

〒603-8143 京都市北区小山上総町 TEL：075-432-3131

交通アクセス：京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」（一番後ろの車両に乗り）下車、南改札口 6 番出口から地上に上がり、右手側の大垣書店 づたいに曲がると大学の塀があります。それに沿って 2 分歩くと（30M ぐらい）正門です。烏丸通の正門から入られて左側の建物で、エレベーターで 5 階に上がり、最初の部屋になります。

研究会参加費：1,000 円（但し、平成 22 年度年会費として）

懇親会：「京やさい料理 接方来（せっぽうらい）」河原町三条店 [電話] 075-254-8850

〒604-8155 京都府京都市中京区烏丸錦小路西入占出山町 305

アクセス方法：河原町通り三条下る、ミーナ京都 7 階（ロフトのビル）

懇親会会費：5,000 円（お店までのタクシー代を含む）

《スケジュール》

3 月 12 日（土）

15:00 開催・挨拶

15:05 発表 ①増田会員

15:50 質疑応答

16:05 休憩

16:15 発表 ②奥村会員

17:00 質疑応答

17:15 今後（第 30 回研究会）の計画検討など

17:30 終了

※此の後、懇親会です。

尚、出欠については来る 3 月 9 日（水）までに別紙にて FAX 頂くか、[または hayasaka@ashiya-c.ac.jp](mailto:hayasaka@ashiya-c.ac.jp)宛、メールで返信下さい。勿論、当日参加も歓迎です、その場合 090-326-88016（早坂）に電話下さい。 以上

出 欠 連 絡 票

日本人間関係学会第 29 回関西地区会（3 月 12 日開催）の

参加

研究会に

（いずれかを○印で囲んで下さい）

欠席

参加

懇親会に

（いずれかを○印で囲んで下さい）

欠席

お 名 前

連絡事項・ご意見・ご希望など

（FAX・メールアドレスの変更、今後の運営についてのご希望や研究内容へのご意見など）

***FAX は 0797-23-1901 芦屋大学・早坂宛**

3/9 (水) 迄にご返信下さい。